



# 6月のほけんだより

梅雨に突入し、どんよりとした肌寒い日々が続いています。保育園では6月の中旬頃から、おう吐や下痢による欠席が見られるようになってきました。園でも感染拡大を防げるよう対応をしている所です。ご家庭におかれましても、外出後や食事前の手洗い・うがいを心掛け、感染対策にご協力をお願いします。

## 6月の感染状況

☆アデノウイルス 3名(6月25日現在)  
(感染性胃腸炎など)

流行期に限らず、おう吐物や下痢便には感染の原因となる細菌やウイルスが含まれている事があります。気になる症状がありましたら、早めの受診をお願いします。

## 「アデノウイルス」に気をつけて!!

アデノウイルスは季節を問わず現れる、とても感染力の強いウイルスです。感染した型により、様々な病気を引き起こします。

### ①感染性胃腸炎

- 激しいおう吐や下痢を起こします。
- 脱水によりぐったりするようなら、通院による点滴や入院が必要になります。
- おう吐物や便、感染者が触れたものに触ることで感染します。

### ②プール熱(咽頭結膜熱)

- 急な発熱、のどのはれ、目の充血、目やにが見られます。
- 熱は3~5日続きます。
- 目やに、涙から感染するので、タオルの共有は避けましょう。
- 症状が治ってから2日経つまで出席停止です。

### ③はやり目(流行性角結膜炎)

- 目の充血、目やに、まぶたのはれが見られ、目やにが強いと、目が開けられなくなります。
- 熱や下痢を起こすこともあります。
- 症状が治まるまでは出席停止となります。

## 歯科検診結果について

つぼみ組、たんぼぼ組は全員が「むし歯ゼロ」でした。引き続き、毎日の歯磨きと磨き残しのチェックをお願いします。むし歯や歯並びの異常が見られたお子様につきましては、個別に検診結果をお渡ししています。ご確認の上、早めの歯科受診をお願いします。

## むし歯の進みかた

### 初期のむし歯(C0)

ケアして治せるむし歯

奥歯は黒ずんで見えたり、前歯では白っぽく見えたりします。正しい食習慣や歯磨き、フッ素の使用で治すことができます。



### むし歯(C1)

エナメル質の小さなむし歯

エナメル質に小さな穴が空いている状態です。自覚症状も、たまに歯がしみる程度で、家庭では発見しにくいです。



### むし歯(C2)

象牙質まで進んだむし歯

穴が象牙質まで進み、見てわかる大きさになったむし歯です。冷たい物や熱いものがしみる可能性があります。



### 歯髄炎(C3)

神経まで達した重症のむし歯

神経まで達しているため、何を食べてもしみたり、ズキンズキンと激しい痛みを感じます。



### 歯根膜炎(C4)

歯髄炎が悪化したむし歯

歯髄炎を放置すると、神経が腐り、歯根の先にうみがたまり、激しい痛みに加え、熱が出ることもあります。

